

フェアウインドきの 施設季刊誌
~fairwind~ 春号

2024年度 第73号
発行：フェアウインドきの広報係
〒606-0015
京都市左京区岩倉幡枝町2250
TEL /075-712-5252
FAX/075-712-5270



特集

中期計画・24年度方針を発表

- 未来へむけての座談会
- 24年度施設方針
- 介護保険改定のポイント

特集1

第3期中期計画の発表

未来へ向けた座談会

フェアインドきの第3期中期計画が発表されました。今回は、池本施設長、宇都宮事務長、高瀬療養部長による座談会形式で、施設の未来像についてお話を伺いました。

団塊の世代、後期高齢者時代へ

小松 顕 (以下司会) 本日はフェアインドきの第3期中期計画について、施設長、事務長、療養部長の3名にお話を伺い、これからの未来像を探りたいと思います。よろしくお願ひします。

池本施設長 (以下施設長) 2025年、団塊の世代が後期高齢者となります。今回の計画では「新しい世代に対応できる施設づくり」をテーマとして第3期中期計画(2024-2030)を発表いたしました。



高瀬 智佳子
療養部長
看護師

池本 千花
施設長
医師

宇都宮 将征
事務長
介護支援専門員

小松 顕
リハビリ科課長
作業療法士



Special
Table
Talk '24

地域ニーズへの対応と多様化する価値観

司会 今回の中期計画で、皆さんが特に大切にしている点がありますか？

施設長 年々高まる地域ニーズに対応するため、数年前より看取り支援に取り組んできました。今後も新たなニーズに合うよう努めたいと思っています。

宇都宮事務長 (以下事務長)

団塊の世代は、以前の高齢者像とは異なり、元気で価値観も多様化しています。人と人とのつながりをより一層大切にしたいと考えています。

高瀬部長（以下部長） 近年注目されている認知症支援の質向上も課題です。感染対策強化も重要であり、基本的な対策の徹底とスタッフのスキル向上に努めたいと思います。

中期計画の解説

司会 中期計画をイラストで表現されていますが、詳しく教えてくださいませんか？

施設長 イラストは、中期計画の5つの柱を表しています。

① 地域の要請に応じた特徴あるサービスの提供

施設長 利用者様の年齢層、疾患、ニーズは多様化しています。在宅療養支援、中重度支援、看取り支援へのスキル向上に力を入れます。



中期計画 5つの柱

1. 地域の要請に応じた特徴あるサービスの提供
2. データに基づく科学的な支援スキルの向上
3. 人が育つ教育体制づくり
4. 新たな地域とのつながりと広がり
5. 健全な経営基盤の確立



新たな世代に対応できる施設づくり

地域

制度

第3期中期計画のイラスト図

地域と介護保険制度の大地に、大きく根を張る木を施設イメージとしました。中期計画では5つの柱となる果実を大切に大きく育てていきます。

司会 地域ニーズへの対応が重要です。ね。老健でできることを振り返り、スキルアップが大切になるわけですね。

② データに基づく科学的な支援スキルの向上

司会 データに基づく支援について、どのように取り組んでいますか？

事務長 厚生労働省のデータベース「LEEFE」に利用者様の身体状況を提出し、フィードバックに基づく質の向上を目指しています。単なるデータ提出ではなく、スタッフのアセスメント力向上のための教育にも力を入れます。





③ 人が育つ教育体制づくり

部長 コロナ禍では研修をWeb形式で実施し、伝達講習や感想共有にも取り組みました。現在は施設内集合研修も一部再開し、キャリアアップアンケートによる意向確認を行い、スタッフの成長を支援していく予定です。

④ 新たな地域とのつながりと広がり

司会 地域とのつながり強化について、具体的な取り組みは？

事務長 ご家族との交流機会や地域向け健康講座の開催を計画しています。

部長 地域向け講座や研修はスタッフのスキルアップにも繋がるので、開催を目指したいですね。

事務長 24年度改定では、協力病院との連携強化が求められています。地域施設や病院と協力し、高齢化する地域を支えていくことが重要です。連携を深め、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

⑤ 経営基盤の確立

司会 今回の介護保険改定はプラス改定といわれていますが、今後の展望は？

事務長 プラス改定ではありませんが、労働人口減少に伴い、多くの施設でIT活用や外国人労働者の雇用が検討されています。当施設としても、スタッフの賃金向上と労働環境改善を目指していきます。



未来への展望

司会 最後に皆さんから一言ずつよろしくお願いします。

施設長 いろんな世代に幅広く対応できる施設を目指します。

事務長 老健には様々な職種とサービスがあります。みんな協力して、地域に貢献していきたいですね。

部長 地域との関わりを深め、皆さんから益々求められるようになりたいと思います。

司会 本日はありがとうございます。

Special
Table
Talk'24



司会の小松より

皆さんから貴重なお話を伺えました。中期計画で示された方向性に基づき、地域に根差した施設へむけた、スタッフ一同で成長したいと思います！

2024年度 施設方針 “新たなスタート”

新しい支援体制づくり
新加算・制度改定への対応

新たな人材育成
キャリアアップ支援の取組



新しい地域支援活動
家族・地域交流づくり

新たな課題への挑戦
生産性向上の取組

ケアの質を高める

24年度の施設テーマは「新たなスタート」です。新中期計画の発表と介護保険改定の年、新たな第一歩を踏み出します！

キーワードは「つながりとコミュニケーション」でした。介護保険改定では、医療と介護、施設間との連携が求められています。地域の皆様、関連各所の事業所様との連携力を発揮できよう、活動を展開してまいります。

- 主には
- ① 新しい支援体制づくり、
 - ② 新たな人材育成、
 - ③ 新しい地域支援活動、
 - ④ 新たな課題への挑戦
- を軸として、様々な活動を実施してまいります

地域支援の強化と介護の質向上

今回の改定は、今後増大する高齢者数と、労働人口の減少、ひいては介護人材確保をテーマとしています。また、地域の医療と介護の連携強化により、地域での生活が続くよう、サービスの質向上が求められるものとなりました。

改定のポイント

- 自立支援・重度化予防
- 栄養・口腔・リハビリの一体的支援
- 医療と介護の連携
- 看取り支援、認知症支援
- 生産性向上・働きやすい職場づくり

老健施設が重視しているのは自立支援と重度予防の取組。入退所時の居宅訪問指導、栄養・口腔・リハビリを強化する取組、看取り支援や認知症予防の支援等、サービスの質向上が求められています。当施設も在宅強化型老健としての役割を果たしてまいります。

※サービスにより改定期が異なります

入所・ショートステイは4月より変更となり、デイケアと訪問リハビリは6月より変更となります。利用料金も併せて変更となりますので、詳細は担当ケアマネジャーおよび担当者にお尋ねください。



感染サポートチームの現地研修

2月29日京都府感染サポートチームによる現地研修が開催されました。ガウンテクニックの復習、手洗いや消毒の癖や注意点について学習するとともに、フロアをラウンドいただき、現在実施している予防策についてアドバイスいただきました。



明徳学区 すこやかサロン

3月13日（水）明徳学校区社会福祉協議会が運営するすこやかサロンで、健康体操を実施しました。理学療法士の高田より、手足と全身を動かす体操を、作業療法士の小松より、認知症予防につながる体操をお伝えしてきました。今後も地域の皆様とのつながりを大切に活動してまいります！

【新人スタッフ紹介】



田中奈美子
看護師(非常勤)

2月よりお世話になっております。以前は病院で働いており、施設で働くのは初めてで日々学ぶことばかりです。大変なことも多いですが、優しい先輩方利用者さんのお陰でやり甲斐をもって働くことができます。どうぞよろしくお願いたします。



倉本幸枝
3階介護

中途採用で一月に入職いたしました。不安や緊張で一杯でしたが、入社初日から先輩方や利用者様が温かく迎え入れて下さり、日々親身に業務を教えていただき、大変感謝しています。毎日を大切に、頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。

日々の様子をFacebookで続々更新中です！是非ご覧ください！

👍いいね! 応援よろしくお願いたします(^^) /



施設ホームページ



facebook